

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズスクールピース オブ マインド		
○保護者評価実施期間	2026年1月23日		～ 2026年2月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	2026年1月23日		～ 2026年2月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月28日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の連携がしっかりと取れており、情報共有が毎日開所前と閉所後に行われている。	職員間でも日々積極的にコミュニケーションを取り合い、気になることがあったら都度相談し合える環境を整えている。 また、支援内容や子どもたちの様子について、日常的に情報共有を行い、それをもとに具体的な支援方法を検討・実行するようにしている。	今後も継続し、より子どもたちに寄り添った支援を提供できるよう努めていく。
2	長期休暇期間や季節行事の活動プログラムが充実している。 活動プログラムが固定されないように毎回工夫されている。	・イベントや外出活動等、ご家庭では経験が難しい活動や季節行事を取り入れ、児童が様々な体験を得られるよう工夫している。 また、活動内容が固定化しないよう定期的な見直しを行っている。 ・全職員で毎月の活動プログラムの立案や修正を行っている	・職員間での情報共有を継続するとともに、利用児童や保護者からの意見を取り入れながら、より満足度の高い活動内容の充実を図っていく。 ・全職員が活動プログラムの立案に参加することでより一層支援の質の向上を図る。
3	・事業所の支援方針を全職員で共有し、一貫性のある支援を行っている。 ・子どもの特性や発達状態に応じた小集団での支援を積極的にやっている。	集団に慣れること、見通しを持ったルールや手順を理解すること、また友達と関わることを楽しみながら経験を増やしていく支援を行っている。	・各児童の特性を職員間で共有、または各自勉強をしてどの児童でも自信をもって対応、支援できる能力を今以上に身に着けるため、勉強会などに積極的に参加をして知識と技術を身に着けるように努めたい。 ・集団活動においても子ども一人一人の発達や行動の振り返りを行い、個々の次の課題に繋げられるようにしていく。 ・集団場面に慣れ、園での活動にもスムーズに移行できるよう集団活動の内容を工夫し、園との連携を充実させていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員一人一人の療育力・専門性の向上など事業所全体で底上げが必要である。	個別活動や小集団活動において、子どもの様子に応じて臨機応変に支援プログラムを組み立てる力が必要な為、個々の経験や知識によって偏りが生じやすい。	・研修に参加できる機会を増やし強化を図っていく。 ・経験のある職員がフォローを行うなど職員間での情報共有を密におこないチーム全体で支援方向を検討していく事で質の向上を図っていく。
2	保護者会や保護者同士が交流できる機会が十分に設けられていない。	就労されている保護者も多く、送迎時間が分散していることから、交流の場を設けることが難しい状況がある。	行事や説明会等の機会を活用し、無理のない形で保護者同士が情報交換できる場づくりを検討していく。
3	地域との交流や保護者様やきょうだい交流の機会が乏しい	地域のイベント情報をうまく収集できていなかったり、時間帯や年齢的な難しさなどの問題もある。	情報収集をしたり、こちら側から発信するなどの方法を検討してみる。

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 キッズスクールピース オブ マインド

公表日 2026年3月4日

利用児童数

6名

回収数

6名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	1			安全にスペースの確保がなされている。	スペースを広く、また安全に使えるよう、物の配置の見直しを行って行きます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6				音楽や運動に専門的な職員もいて適切だと思います。	・職員研修の機会を確保し、専門性の向上に努めます。 ・今後も質の高い職員の人数を増やし定着させ、子ども達がより安全に安心して成長していけるようにしていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6				子どもたちが分かりやすいような構造がなされていました。 ・トイレも車椅子が入れるくらい広く、バリアフリー化になっていました。	視覚的な支援を取り入れ、生活、活動内容に合わせて限られた空間を工夫して使用しています。必要に応じた個別対応や、より安全で分かりやすい環境設定ができるよう心がけていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6				いつも整理整頓されています。何が何処にあるかと、わかりやすい配置にされていると思います。	・感染予防対策を徹底するなど、子供たちが安心して過ごせるようにしていきます。 ・活動内容に合わせて適切な環境を準備するよう心がけていきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6				子ども一人ひとりの課題に沿った支援が行われていると思う。	今後も子どもたち一人ひとりに合った適切な支援を行っていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6					今後も支援プログラムを基に、個々の課題を捉えた支援内容を提供して行きます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					支援計画については複数の職員で検討を行い、子ども一人ひとりに合わせた内容で、具体的かつ効果的な内容となるよう作成しています。必要な見直しは適宜行っています。支援内容については丁寧に説明させていただきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6				具体的な支援内容を伝えて頂いています。その内容もよく考えられており適切だと思います。	個別支援計画は、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」を網羅するよう作成しています。その中から子どもの発達状況を踏まえた上で必要な項目を選択し支援内容に組み込んでいます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6				職員全員が子供に対しての支援内容を理解し、それに合わせた活動が行われていると感じます。	個別支援計画の内容を定期的に確認しながら、計画的に支援を行います。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6				季節に応じた活動スケジュールが組まれており、楽しみながら学びができる内容だと思います。	子どもたちの将来に少しでも役に立つ事が出来る様に、季節に応じた様々な体験活動を取り入れ、また子どもたちの意見を尊重しながら楽しんで頂けるようにしています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。			3		3	
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					丁寧に説明してくれます。	・今後も丁寧な説明を心掛けていきます。 ・ご不明な点等があれば、その都度ご説明させていただきます。
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					丁寧に説明してくれます。	個別支援計画書の変更時には、面談を実施して丁寧な説明を行います。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1		1	困った時や、面談時に相談に応じてくれます。	・随時、面談や電話での相談を行っています。ご家庭での困りごとや課題について共通理解を行い、保護者様の負担を軽減できるようにしていきます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6				送迎時に活動の様子を伝えてもらったり、連絡ノートに書いて頂いて共有できています。	日々の様子や発達の状況、課題など、連絡ノートや電話等で密に伝え合い、共通理解が持てるよう努めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6				半年に1回の面談や、日々の送迎時などできちんと説明して下さる。	今後も保護者様と子どもの問題や課題についての共通理解を行い、定期的な面談や細やかな連絡を行っていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6					子どもを中心とした視点を持ち、子どもの最善の利益を優先することを日頃より大切にしています。共感的な関わりの中で子どもたちにも保護者の方にも安心して過ごしていただけるよう今後も努めていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		3	1	2	保護者同士の連携は必要と感じません。	保護者会等はありませんが、要望があれば保護者同士の交流の場を検討します。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6				何事にも全力でサポートしてくれ、相談をした時は、すぐに対応してくれます。	相談や申入れを受けた際は、迅速かつ適切に対応するように心がけています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6				通所時の子どもの状況を分かりやすく伝えてくれたり、連絡帳にも書いてくれるので助かります。	連絡帳、送り迎えの際に伝えきれない場合は電話等で丁寧に説明を行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6				どのような活動をしているかブログで確認できる。楽しそうに過ごしていると思える。	ブログや連絡帳で活動報告を行っていますが、日常活動の写真の提供や活動内容の、報告の仕方について、より保護者の方が安心出来るよう、また活動のねらい等が理解できるよう工夫をしています。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6					個人情報の取扱いについては十分注意するとともに、取扱い際には、その都度、その目的や内容等について保護者の方に確認し、了解を得たうえで関係機関と連携させていただいております。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6				毎月、避難訓練や防犯訓練があり、実際に起こった場合も何処にお迎えに行けばよいか説明もありました。	・定期的に訓練を実施しております。 ・保護者の方にも周知して頂けるように、毎年年度初めに書面にて、必要事項をお知らせいたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6				毎月スケジュールに組まれており、子供も学習して覚えています。	火災・地震・津波を想定した避難訓練を年間9回、防犯訓練を年間3回、AED訓練を年間1回実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6					継続して、事業所内外や用具等を随時点検し、職員で連携しながら子どもの安全面に十分配慮していきます。
満足度	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6				発熱など、体調不良の時はすぐに連絡があるなど、日頃から子どもの体調や様子をよく見て頂いていると思います。	安全計画に基づき怪我などについての注意喚起や事業所の取り組みについて、よりわかりやすい周知方法を検討します。
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6					安心して通所できるように、これからも努力していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6				楽しく通所しています。	今後も職員や療法士との関わりを楽しみに通所できるよう、子どもや保護者との信頼関係の構築に努めていきます。
29	事業所の支援に満足していますか。	6				安心して預ける事ができます。	今後も保護者のご負担を少しでも軽減できるようにし、子供たちがよりよい生活を過ごせるようにしていきます。	

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		キッズスクールピース オブ マインド				
		公表日 2026年3月4日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	2	・行事や時間帯によって過密状態になってしまいうため、活動内容を分散しています。 ・活動や利用児童に合わせて部屋の構造を変えるなど工夫しています。	・利用定員としては適切であるが、行事等により児童が過密し、十分なスペースの確保が難しいことがある為、集中する時間の活動人数を分けて行っていく。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13		配置数が適切になるよう、勤務状況に応じてその都度考え、配置しています。	・職員研修の機会を確保し、専門性の向上に努め、子ども達がより安全に安心して過ごせるようにしていきます。 ・利用児童に対し、よりよい支援を行うために、法令で必要とされる配置数に加え、新規入職した職員(指導員又は保育士)の定着率を高め育成します。 ・送迎職員の確保、育成に努める。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13		日々の利用状況を職員全員が把握し、個々に応じた配慮をしています。	視覚的な支援を取り入れ、子ども達がわかりやすいように構造化などは取り入れている。個々の状況に応じた工夫を今後も進めていく。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	13		・事業所内は、常に清潔に保つよう心がけており、こまめに換気や消毒を行っています。 ・子ども達が解りやすく活動できるように心がけています。	今後も感染予防対策を徹底しておこなっていく。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13		本人の気持ちの切り替えなどで個別に対応する場合、必要に応じて別室で対応しています。	今後も安心安全な環境づくりを心掛けていきます。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13		・事業所で目標設定をし、よりよい支援の向上を意識しています。 ・毎週、職員全体会議を行い、日頃の支援を振り返り、改善につながるよう話し合いの場を設けています。	今後も職員全体で話し合いを行い、業務の改善策について検討してまいります。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		年に一回実施し保護者様の意向を職員全員が把握し業務改善につなげています。	保護者様から頂いた、ご意見をもとに、より良い支援ができるよう努めてまいります。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		職員ミーティングで意見交換を行い、検討・改善につなげています。	今後も、意見の出しやすい仕組みづくりと風土を築くことで職員ミーティングでの意見交換を充実させ、業務改善に努めていきます。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		13		第3者評価の実施については今後の検討課題としてまいります。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	3	研修の機会を確保し、随時積極的に受講しています。	今後も事業所内研修を行い、必要に応じて外部研修等にも参加し、職員の資質の向上に努めてまいります。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13		支援プログラムを作成、ホームページにて公表しております。		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13		定期的のアセスメントを行い、児童の状況や保護者様のご意向を踏まえ適切に支援計画を作成しています。	今後もアセスメントを適切に行い、常に児童及びその保護者様の立場に立って、支援計画を作成してまいります。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13		子どもに関わる職員が共通理解を図るため、ミーティングを開催し情報共有を図っています。	職員間の共通理解の拡充を図るため、非常勤職員との情報共有の機会も増やしていきます。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13		ミーティングでの情報共有を行うと共に、職員が個別支援計画をいつでも確認できるようにしています。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13		事業所で作成したアセスメントシートを活用しています。		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13		児童発達支援ガイドラインを基に、児童の状況や課題、保護者様のご意向から必要な支援内容を組み合わせ設定し、計画を立てています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13		職員全員で話し合い、子どもたちが楽しく色々な体験が出来るように考え活動プログラムを作っています。	今後も楽しく様々な体験を積み重ね、将来必要となる力を養えるように活動プログラムを考えていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13		季節行事等を必ず取り入れながら子どもたちが楽しく色々な経験ができるように考え活動プログラムが固定化しないよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13		子どもの発達段階に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせた児童発達支援計画を作成しています。	今後も個別活動と集団活動をバランス良く組み合わせ、より良い支援ができるよう支援計画を作成してまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13		毎朝、当日の流れや、支援内容・役割分担について確認を行い、その都度確認するようにしています。	今後も支援内容や役割分担の確認、情報の共有を徹底してより良い支援に繋げてまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	5	支援終了後は送迎等で難しい場合もありますが、支援の中で気づいた点や、気になることなどを職員間で伝えあい、共有しています。	今後も職員間の情報共有の徹底のため話し合いの場を持ち、より良い支援に繋げてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13		業務日誌・個別日誌及び保護者様との連絡帳において、日々気づいた点、その日の体調、生活状況の変化等を記録し、振り返りを行っています。その都度職員間での連携・情報の共有をおこなっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13		定期的なモニタリングを実施し、保護者様と児童の現状把握・振り返りを行ったうえで見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13		サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者が必ず参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	4	保健相談所で療育の必要性があると判断されたお子さんの紹介に応じて支援を行う体制が整っています。また関係機関との連携を図り情報共有や支援方針について共有を図ります。	関係機関との連携と事業所内での情報共有を円滑に行えるよう努めます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	3	幼稚園や保育園など在校園との併行通園や移行に向けて利用時間や曜日の調整と支援を行っています。保護者や関係機関の意向をもとに連携を図り情報を共有し、支援方針について共有を図ります。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13		都度必要に応じて情報共有と相互理解をしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	4	こども発達支援センターで発達検査や知能検査を受けた場合、その報告書を保護者同意のもと共有しています。		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	9	地域参加型のイベントを開催する等、障がいのない子どもたちにも参加して頂き活動する機会を設けています。	今後も様々なイベントを企画し、積極的に交流する機会を増やしていきます。	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	13		送迎時に保護者様とお会いして伝えるように心がけていますが、送迎時にお会いできない保護者様とは、連絡帳やお電話で情報共有しています。	今後も引き続き保護者様と情報共有の充実を図り、共通理解に努めます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	5	送迎時や連絡帳のやりとりを通して連携を取りながらお声がけをし、保護者様に支援内容を理解していただき、ご協力頂ける部分は取り組んで頂いています。	今後も保護者様のお悩みに寄り添う支援ができるよう努めてまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13		契約時に説明させていただいております。また、不明な点は随時職員が説明するようにしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13		子どもと保護者の意向を計画書に記載し、ニーズを踏まえた支援計画を作成しています。設定した目標に対して支援方針や支援内容の優先順位を踏まえ計画を作成しています	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13		支援計画内容を説明する面談を設け、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13		定期的な面談とその都度子どもの現況に応じて保護者様とお話しし、悩みや相談に適切に対応するように心がけています。	保護者様が相談しやすい雰囲気づくりにも努めてまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	10	年に数回の親子参加型のイベント交流会や、専門職(運動療育・ことば音楽療法士)との相談会の場を設けています。	保護者様のご意向に配慮しながら、保護者様同士や職員との交流を検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13		苦情や申し入れについては苦情窓口を決め、頂いたご意見は全職員に周知し、迅速かつ適切に対応するように心掛けています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13		手紙やHPにて活動概要や行事予定を公開しています。気になる点・連絡事項等は、都度保護者様に連絡するようにしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13		・ 個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。 ・ 個人情報の取扱については十分注意するとともに、取扱に際しては、その都度、その目的や内容等について保護者の方に確認し、了解を得たうえで関係機関と連携させていただいております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13		子どもの特性などを把握した上で配慮しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	3	年に数回オープンイベントを開催し、地域の子どもたちにも参加して頂き、活動する機会を設けています。	
非 常 時 等 の	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13		各マニュアルを策定し職員間で共有し、定期的に緊急時を想定した訓練を実施しています。	今後も継続して保護者様へ各種マニュアル等をご覧いただけるようお知らせし、訓練も実施してまいります。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13		BCPに沿った研修・訓練を実施しています。職員による避難手順や経路確認、連絡訓練の他、利用児と共に防災頭巾や室内での集合訓練を行っています。	BCPの職員への周知を図ります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13		利用開始の際、健康状況票を保護者の方に記入していただき確認しています。また必要に応じて聴き取りも行っています。	緊急時に適切に対応できるように、定期的に利用者の既往歴や服薬についての情報共有を行うようにしていきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13		食事提供はしていませんが、アレルギーの原因となりうる教材の使用は見合わせるか保護者の方の同意を得た上で使用することもあります。(小麦粉年度、牛乳パックなど)	指示書がある場合は職員間での周知を図ります。より良い周知方法を検討していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練などを統括管理しています。	安全計画を適切に活用するために毎年見直しを行ってまいります。

対応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	2	安全計画に基づき、感染症や怪我などについて注意喚起や事業所の取り組みについて、周知に努めています。	保護者への周知が不足しているため、よりわかりやすい周知方法を検討します。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13		危険な事例があった場合、報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有しています。	今後は事例が発生しないよう注意し、発生した場合にはすべて記録し全職員で共有してまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13		虐待防止に関する研修は児童発達支援管理責任者が必ず受講し、職員間で共有しています。	今後も虐待に関する研修を繰り返し行い、職員全体で周知・徹底してまいります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	13		身体拘束は行っていませんが、活動については子どもの安全確保のための行動制限に関しては事前に保護者様に説明し了承を得ています。	